

米ウォール街、雇用は年初来 1200 人の純減

米ニューヨーク州のトーマス・ディナポリ会計検査官は6日、ウォール街の雇用が年初来で1200人の純減となったことを明らかにした。

米シティグループは前日、全世界で1万1000人を整理する計画を発表しており、削減数は今後も増える公算が大きい。 (4,069 Branches, 261,000 workers こんなにまだ支店が存在、人が働いている!?)

2007年11月以降では、ニューヨーク市の証券業界で2万人の純減としている。

検査官はビジネス・雇用関連のイベントで、利益拡大圧力が背景にあるとの見方を示し、「失われた雇用の多くは戻ってこない。人員削減の圧力は続く」との見方を示した。

ただニューヨーク証券取引所加盟企業の2012年の利益は、ほぼ金融危機以前の水準を回復する見通し。米金融機関は人員を絞る一方で、一部企業は大きな収益を上げている。

推定でニューヨーク市の7人に1人が証券業関連の職に就いている。